

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和3年度～令和7年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（ふじ） 富士森林計画区 （静岡県）	事業実施主体	関東森林管理局 静岡森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、静岡県の東部に位置する沼津市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町の5市2町に所在する1万5千haの国有林野を対象としている。</p> <p>その大部分が我が国最高峰の富士山麓にあって良質な水を育む水源地として重要な役割を果たしており、本計画区の98%が水源かん養または土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>本計画区は、富士山麓の豊かな自然環境を背景として、富士箱根伊豆国立公園等に指定され、さらに世界文化遺産にも登録されたことから、森林生態系の保全、森林とふれあう場の提供や水土保全機能の維持等が期待されている。</p> <p>また、地況や土壌等の条件に恵まれた地域を中心にスギ・ヒノキを主体とした人工林が分布しており、人工林率は管内国有林の60%に及ぶ。また、人工林の5割を5～10齢級の森林が占め、契約満了を迎え主伐される分収林とあわせ、県内外の大型製材工場やバイオマス発電施設等への木材の安定供給が期待されている。</p> <p>以上のように、本計画区の国有林野は、水源の涵養、山地災害の防止、木材をはじめとする林産物の供給などの機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、国民の要請が高度化・多様化してきており、これらの機能に加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の有する多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>このような国民の期待に応え、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、本事業では、森林の重視すべき機能の区分に応じ、主伐跡地における植栽等の更新作業、下刈及び間伐等の保育作業並びにその効率的・効果的な実施に必要な路網の整備を実施するものである。</p> <p>事業の実施に当たっては、これまでの評価結果等を踏まえ、作業効率の向上とコスト縮減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、保育作業等の実施箇所では、安全性の高い列状間伐の導入、下刈回数の縮減、伐採時の生産性向上などの取組を推進する。なお、植栽樹種がスギの場合には、原則として花粉症対策苗木への移行を図ることとする。</p> <p>これらの取組については、国有林が先頭に立ち民有林に波及させる必要があり、引き続き、本事業を実施する中で現地検討会等を積極的に開催し、県や市町村とも連携して取り組んでいくこととする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>285ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,344ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>29.6km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.0km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,445,980千円（税抜き 3,132,709千円）</p>			森林整備	更新面積	285ha		保育面積	2,344ha	路網整備	開設延長	29.6km		改良延長	1.0km
森林整備	更新面積	285ha													
	保育面積	2,344ha													
路網整備	開設延長	29.6km													
	改良延長	1.0km													
費用便益分析	<p>総便益（B） 10,716,827（千円）</p> <p>総費用（C） 3,883,315（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 2.76</p>														
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。事業の効率性や生産性の向上につながる取組を民有林</p>														

	に普及させていくことが望まれる。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資する事業であり、木材を安定供給することにより、地域の林業・木材産業の振興にも寄与することから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。また、路網整備では、木材の搬出が困難な箇所を優先させることや、丈夫で簡易な構造の林業専用道を採用する等によって、森林整備事業箇所へのアクセスの向上とコスト縮減が図られると見込まれ、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施により、森林の有する公益的機能が持続的に発揮され、また、整備した路網を活用した木材の安定供給が図られることにより、引き続きその効果が発現されると見込まれており、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっていることから事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

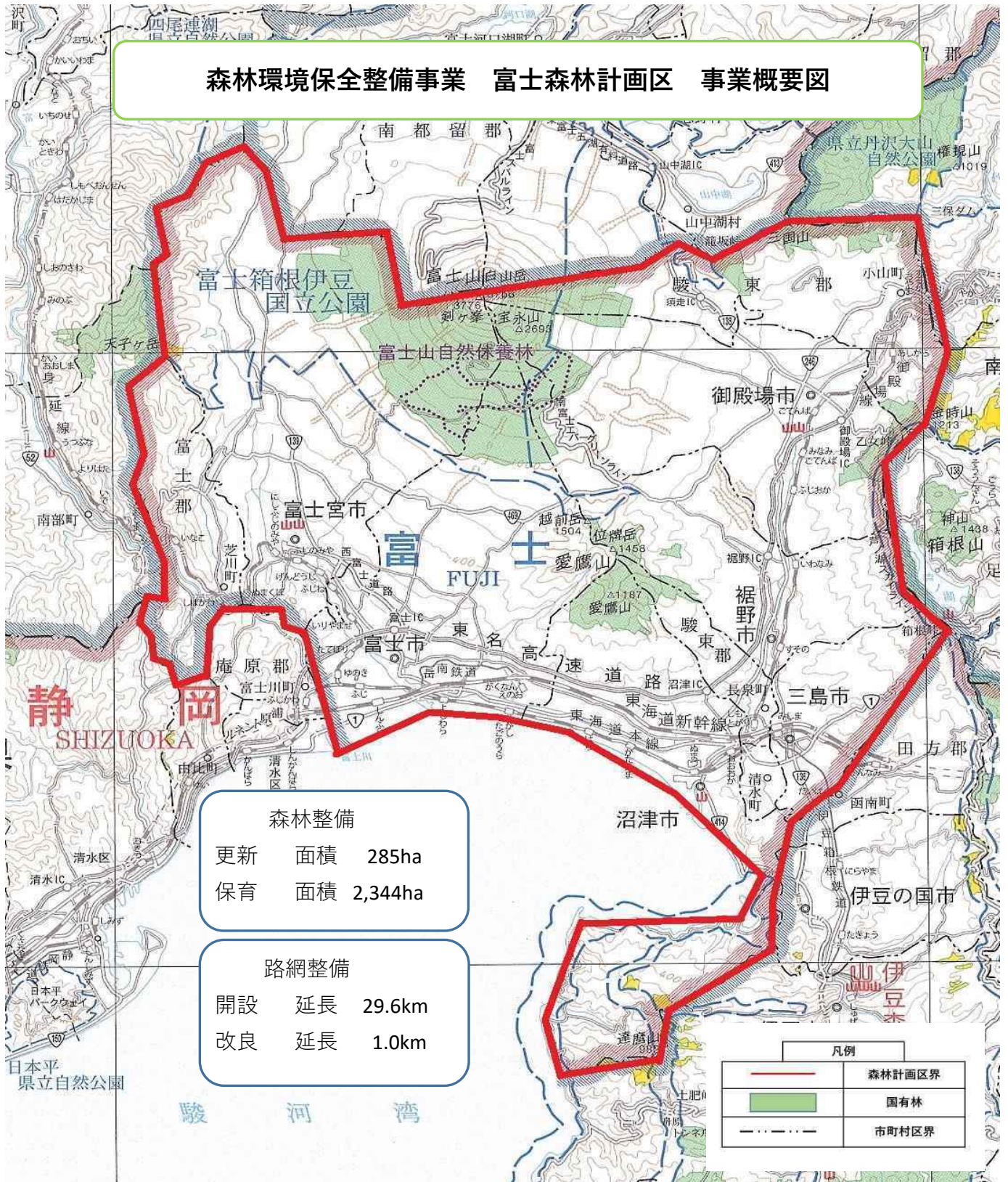
都道府県名：静岡県

施行箇所：富士森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,798,911	
	流域貯水便益	760,606	
	水質浄化便益	1,632,353	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,345,418	
環境保全便益	炭素固定便益	387,910	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,439,079	
	木材利用増進便益	628,841	
	木材生産確保・増進便益	275,893	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,447,816	
総 便 益 (B)		10,716,827	
総 費 用 (C)		3,883,315	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,716,827}{3,883,315} = 2.76$		

# 森林環境保全整備事業 富士森林計画区 事業概要図



森林整備		
更新	面積	285ha
保育	面積	2,344ha

路網整備		
開設	延長	29.6km
改良	延長	1.0km

凡例	
	森林計画区界
	国有林
	市町村区界